

緑のセンターだより

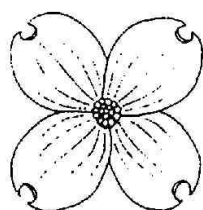
NO. 136 平成 22 年 7 月 1 日発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

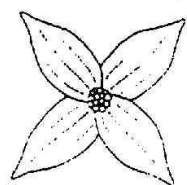
ハナミズキ (アメリカヤマボウシ)

ミズキ科 ミズキ属 *Cornus florida* L.

花の形



ハナミズキ



ヤマボウシ

ハナミズキは、ミズキ科ミズキ属の植物です。ミズキ属は北半球の温帯に約 40 種があり、日本には 6 種が自生しています。ハナミズキは北米東部のオンタリオ、マサチューセッツ州より、南はフロリダ、テキサス州から北東メキシコにまで分布する小高木です。和名は日本のヤマボウシ(*C.kousa* Buerg.ex Hance)に似ていることからアメリカヤマボウシと付けられ、後にハナミズキの名前で一般的に普及しました。属名の *Cornus* はラテン語の「角」に由来しています。英名では dog wood と呼ばれています。その語源には諸説があるようで、一説には、古代英語の dagge(短剣・鋭く尖ったもの)に由来すると言われています。いずれも材質が堅く武器や焼き串に使われたからといわれています。

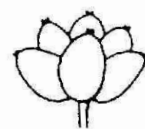
樹皮は黒色で、柿の木のようなコルク質の溝が現れます。小枝は緑色で有毛ですが、後に無毛となります。葉は対生し、楕円形または卵形で、裏面は白粉を帯びており、若いときには軟毛が密生していますが、後に脈上を除いて無毛となります。花は前年伸びた枝の先端に 5 月下旬～6 月上旬に開花します。花弁のように見えるのは 4 枚の白い苞で、先端は凹でいます。本当の花は中央部に 10 個以上集まっていて、花弁は 4 弁、4 本の雄しべと 1 本の雌しべがあります。樹形はモミジのように水平に広くしなやかに伸びて、秋の紅葉と、落葉後の赤い実が美しい観賞価値の高い花木です。

ハナミズキは明治の後期には日本に入っていたようですが、明治 45 年に尾崎行雄東京市長がアメリカ合衆国へ贈った桜のお礼として、大正 4 年に日本に贈られた花木としてよく知られています。ハナミズキは、アメリカの東海岸一帯の山野によく見られます。葉の出る前の枝先に大きな花が多数着くので良く目立ちます。ちょうど日本の山野にコブシやヤマザクラが見られるような光景です。また、庭木として前庭の芝生の中に植えられているのを良く見かけます。原種の花の色は白色ですが、まれに淡紅色のものも有るそうです。

日本では初めてのころ、原種の実生によって殖やされた白花がほとんどで、品種名の付いたものはほとんど有りませんでした。昭和 45 年頃から園芸品種が、広まるようになりました。現在、よく栽培されている品種にアップルブロッサム、ジュニアミス、チェロキーサンセット、チェロキーチーフなどの赤花系、クラウドナイン、レインボー、ホワイトキャッチ、チェロキープリンセスなどの白花系があります。残念ながら札幌近郊では、花の蕾は着きますが、花が見られるのはごく稀です。

ハナミズキとヤマボウシは良く似ていますが、花の形、実の形に違いがあります。また、ハナミズキはヤマボウシよりやや早く、葉の出る前に花が咲きます。(T.K)

実の形



ハナミズキ



ヤマボウシ

7月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00
 ☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
 ☆百合が原公園 772-3511 木曜、日曜
 ☆平岡樹芸センター 883-2891 水曜、土曜

◆ジャーマンアイリスとハナショウブの花後管理

6月中旬から庭の彩りを賑わせていたジャーマンアイリスは既に花を終わらせ花殻に瘤状の種子を付け始めています。一方、ハナショウブは今を盛りに咲き誇っていますから、一言でアヤメ類といっても種類によって花後の管理が異なります。今回は作業を急ぎたい「ジャーマンアイリス」と7月末頃の作業になる「ハナショウブ」について、その違いと作業の手順を示します。

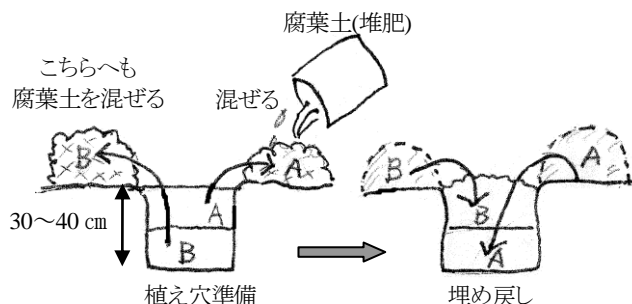
ジャーマンアイリスとハナショウブの植え付けポイント

項 目	ジャーマンアイリス	ハナショウブ
土壌特性	乾燥した痩せ地で中性土を好む	やや湿潤で酸性土を好む
肥 料	完熟堆肥と石灰質肥料(控えめ)	完熟堆肥とピートモス 化成肥料(30g/m ²)
植え替え	花後～7月上旬	7月下旬～8月上旬
株 分 け	2～3 芽ずつ	3～5 芽ずつ
植 え 方	浅植えで株もとやや盛り気味に	浅植えで株もと凹む程度に
水 や り	極力控えめ(自然のまま)	十分地面に浸みるまで

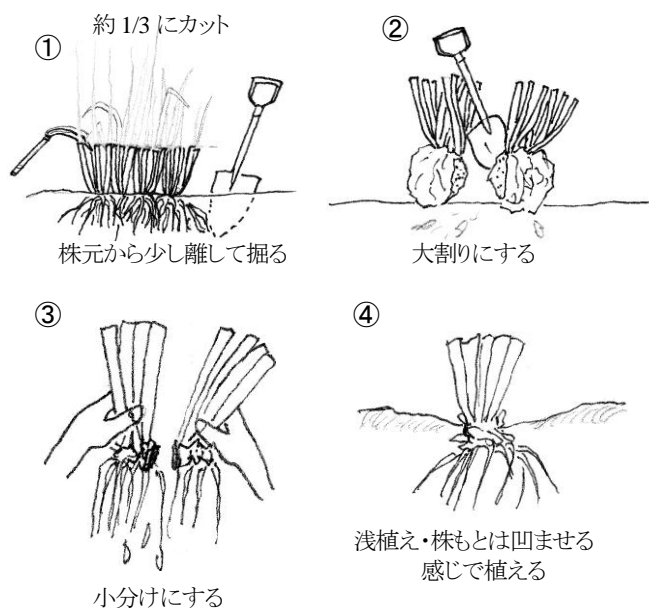
株分け・植え付けの手順

- ①植え床の準備→大きめに、深めに掘り上げ(上土と底土を別々に)掘り上げた土に腐葉土(ピートモス)や堆肥を混入して、上土を底のほうに入れ、底土をその上に埋め戻す。
- ②株の葉は2/3の高さで切り戻す。
- ③株の掘り上げ→両種とも少し大きめに掘り上げる。根の土を少し落として株分けに備える。
- ④株分け
→ジャーマンアイリスは地下茎のくびれ部から1～2芽をつけ切り分ける。
→ハナショウブはショベルなどで大割りにしてさらに手で引き裂くように小分けする(3～5芽ずつ)。
- ⑤植え付け
→ジャーマンアイリスは根茎の切り口に石灰をつけるか陰干しで切り口が乾いてから、根茎部が僅かに見える程度の深さに植え付ける。
→ハナショウブは植え穴が少し凹む程度に植え付けるが、植え方は浅くする。根が多いので植え穴に根が良く広がるようにする。

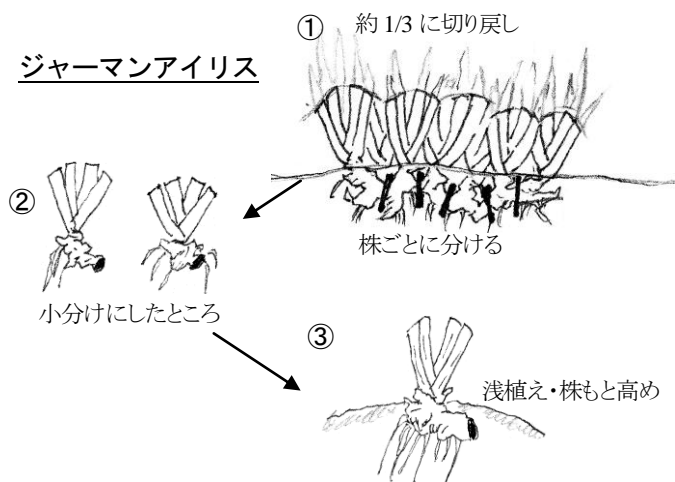
植え床の準備



ハナショウブ



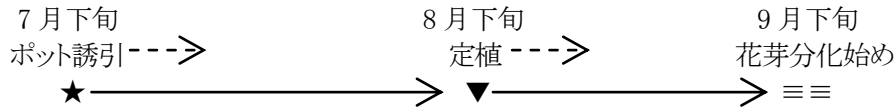
ジャーマンアイリス



◆いちごの育苗

いちごは9月下旬になると翌年の花芽がで始めますので、8月下旬までに立派な苗を作ると翌年沢山のいちごを穫ることができます。

採苗・育苗・定植期カレンダー



a ポットによる育苗方法

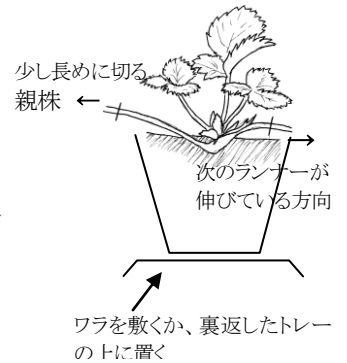
- ① 7月下旬頃に、今年収穫した株から出たランナー(ツル)で葉の枚数が3~4枚の子株をポットに誘引して動かさないように押さえます。根は出ていなくても良いですが、育苗が遅れると収量が上がりません。
- ② 葉の枚数が5枚以上の子株(通常「太郎苗、1番苗」)は老化苗で収量が上がらないので使用しないようにします。
- ③ ポットの用土は清潔な園芸用培養土を用い、土壤病害を防ぎます。
- ④ 用土 100あたり 園芸用化成肥料 10g、過リン酸石灰 10gを施します。
- ⑤ ポットは、水はけを考えワラ、裏返しにした発泡トレーなどの上に置き、決して地面に直接置かないでください。

b ポット誘引後の管理

- ① 定植する前までポットの表面が乾いたら水やりをしてください。
- ② ポットに誘引してから2週間ほどで根付きますので、親からのランナーを4~5cm残して切り離します。次の子株へのランナーは1~2cmで切り取ります。切り離して3~4日目は根が少ないので乾燥に注意し、置き場所は、明るい日陰に置きます。
- ③ 8月下旬の定植まで良い苗ができるように管理し、とくに乾燥に注意しましょう。

c 定植

- ① 植付け2週間前(8月上旬)に1㎡あたり堆肥3~5kg、園芸用化成肥料100gを施し、深さ15~20cmで良く耕しておきます。
- ② 高さ15~20cmの高畦にして、色の着いたマルチフィルムを張り、8月下旬に浅く植え付けます。この時に根を乾かしではいけません。*9月下旬までに活着が終了している事が重要です。



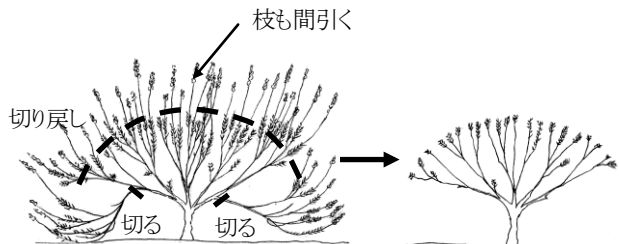
◆ラベンダーの花後管理

ラベンダーは北国栽培の代表種「ハナモイワ」「早咲3号」「ヨウテイ」「オカムラサキ」などが7月上旬から下旬にかけて開花しますが、花後には「剪定」が大切な作業です。また、7月はさし木の適期です。

《剪定》来年の花のために剪定・整枝は欠かせない作業です。

○毎年剪定・整枝を適宜行ってきた株の場合

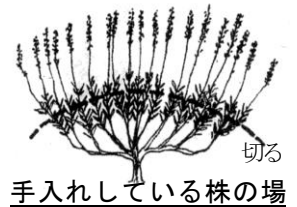
剪定(刈り込み)の位置は今年伸びた茎の元の葉の付け根の節を2~3個残す程度にして、草丈をできるだけ低くなるように切ります。実際には株の刈り高をおおよそに決め、花茎をひとまとめにしてハサミや鎌などで株全体が扇形になるように刈り込みます。



放任した株の場合

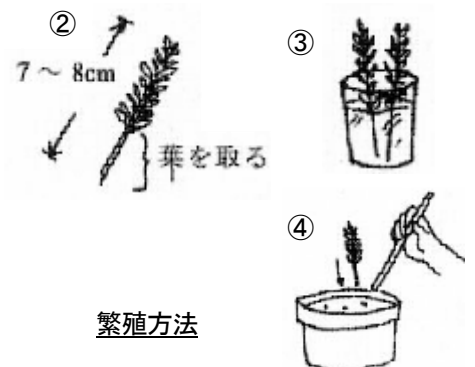
○剪定・整枝を行わず放任してきた株の場合

ラベンダーは、小低木ですから放っておくと幹になって立ちあがったり、枝が横に伸びて地面に寝てしまい、草姿が乱れてしまいます。これをコンパクトな草姿に仕立てなおすには、思いきって株もとから20~30cmぐらいのところで切り戻します。芽吹きがよいので晩秋までに新芽が多く伸び出して、こじんまりした株になり、2~3年で株元から30~40cmぐらいの扇形になります。また、枝が込んでいますので、株の内側で重なり合っている枝をすかすように間引き、垂れて地面についている枝も剪定します。



《繁殖》殖やすにはさし木が容易で、6~9月の間で行えますが、熟枝のさし穂が得やすい7月が最適期です。方法は、

- ① さし穂は花のつかなかった、やや硬めの今年出た枝(茎)を用います。
- ② 今年出た枝の先端を7~8cmの長さに切り、用土にさす部分の約2~3cmのところの葉をとります。
- ③ よく切れるカッターナイフなどで切り口をやや斜めに切りなおし、約30分間水あげします。
- ④ 平鉢に小粒赤玉土を入れてあらかじめ湿らせておき、切り口を傷めないよう棒などで穴をあけ、枝の切り口の先端に発根促進剤をつけてさします。
- ⑤ 4~5日は軒下などの日陰に置き、落ち着いたら日当たりと風通しのよい場所に移し、約30~40日で発根を確かめて鉢上げまたは地植えします。



7月～8月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
果樹などの夏の病害虫防除	7月4日(日)	13:30～	6/11(金)～	無料
洋ランの夏の栽培方法	7月10日(土)	13:30～	〃	〃
おいしいイチゴ栽培	7月11日(日)	13:30～	〃	〃
竹垣を作ろう！(矢来垣)	7月17日(土)	10:00～	7/11(日)～	材料費実費
秋野菜の種まきと管理	7月18日(日)	13:30～	〃	無料
展示会				
あけび・籐 作品展 ―自然からの贈り物―	7月6日(火)～11日(日)		あけびつる工房らせん	入場無料
ハイビスカス展	7月21日(水)～8月8日(日)			
子供向けイベント				
夏休み ネイチャークラフトフェスティバル	7月29日(木)・30日(金)	10:00～15:00	当日受付	100円
クラフト教室				
あけび工房 小枝の一輪挿し	7月21日(水)	10:00～	7/11(日)～	2,000円
現代押し花アート体験講習「花のコースター」	7月21日(水)	13:30～	〃	1,000円

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
ゴヨウマツの整姿剪定	7月10日（土）	10：00～	6/11(金)～	300 円
		13：30～	〃	〃
クロマツ・アカマツの整姿剪定	7月19日（月祝）	10：00～	7/11(日)～	〃
		13：30～	〃	〃
クラフト教室				
ナチュラルリースアレンジメント	7月15日（木）	10：00～	6/11(金)～	3,500 円

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

ゆり月間		7/1(火)～7/25(日)		
ゆり展	7/1(火)～7/25(日)		大温室入館料 130円	
お茶会	7月25日(日) 11:00～13:30(なくなり次第終了)		先着 100名	入館料 130円
園内ツアー	7月 8日、15日、22日(各木曜)	10:30～12:00	事前申込み必要	入館料 130円
展示会		日	料金	
子ども向け植物展	7月28日(火)～8月16日(日)		大温室入館料 130円	

その他の公園

イベント 内容	内容	日	費用	問い合わせ
子リス工房おとなの日	「バーニングペンで作るドアチャイム」	7月8日(木) 10:00～	500円	西岡公園 582-0050
子リス工房こどもの日	「おえかきドアチャイム」	7月25日(日) 13:00～	300円	

2010.夏休み子どもむけ

公園のそうじや手入れをしたときに、あつめた「まるた」や「えだ」をつかって、作品をつくってみよう!

ネイチャークラフト フェスティバル

★日 時:7月29日(木)、30日(金) 10:00～15:00

(この間は、いつからでも参加可能。入場券があれば、当日に限り、なんかいでも出入り自由。
受付は14:15で終了します。参加者が多い場合は、入場を制限することがあります。)

★場 所:豊平公園緑のセンター 電話:811-6568

★参加方法:上記の日時に豊平公園緑のセンターまできてください。

事前申し込みはいりません。参加費は 100円です。

(雨でもやります。就学前のお子様は、保護者同伴で御参加ください。保護者も参加費が必要です。)

4つの あそびが ぜんぶできます!

まるた
クラフト

のこぎりと
クギで木の工作を
しよう

花と
ハーフの
はちうえ
鉢植え
づくり

はちうえを
つくって
家で育てよう

クイズもあるよ!

こえだ
小枝で
お絵かき

小枝で絵や字を
つくって
家にかざろう

段ボールの板
(15×20cmくらい)を
持ってきてよう!

えだ
枝と
木の葉の
アクセサリ

枝や木の葉を
つかってペンダント
をつくろう

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

※「緑のセンターだより」バックナンバー公開中 ※